

予報期間 8月21日から8月27日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 期間を通して太平洋高気圧が日本の南に張り出す。
- 23日から24日にかけて、低気圧が沿海州付近から千島近海に進み、前線が北日本を通過する。
- 25日から26日にかけて、低気圧が中国東北区から北海道付近に進む。
- 27日は、低気圧は千島近海に進む。

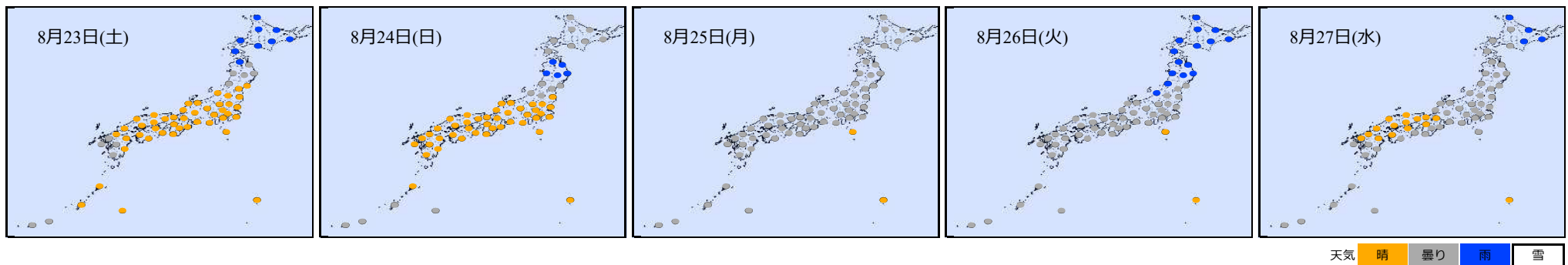
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 23日から24日にかけて、北日本では低気圧や前線の影響で大雨となり、低気圧の発達程度等によっては警報級の大雨となるおそれがある。
- 北日本から西日本にかけては気温が高くなり、最高気温が35度以上となる所がある。熱中症など健康管理に注意。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

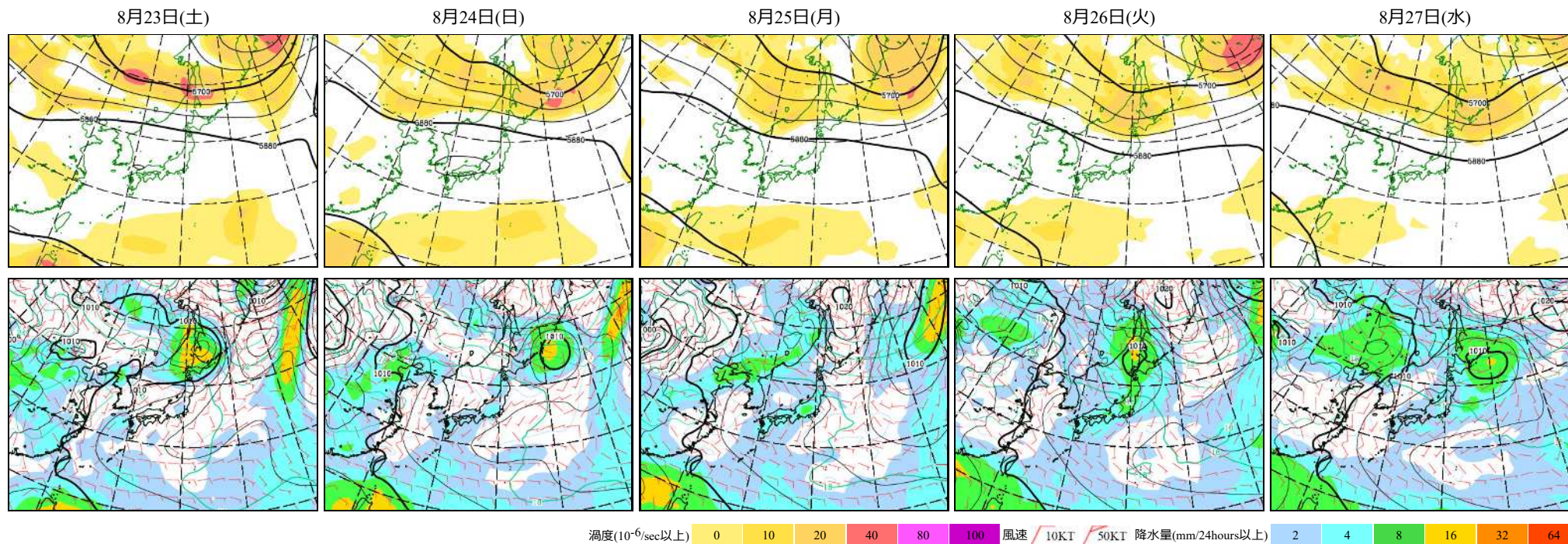
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

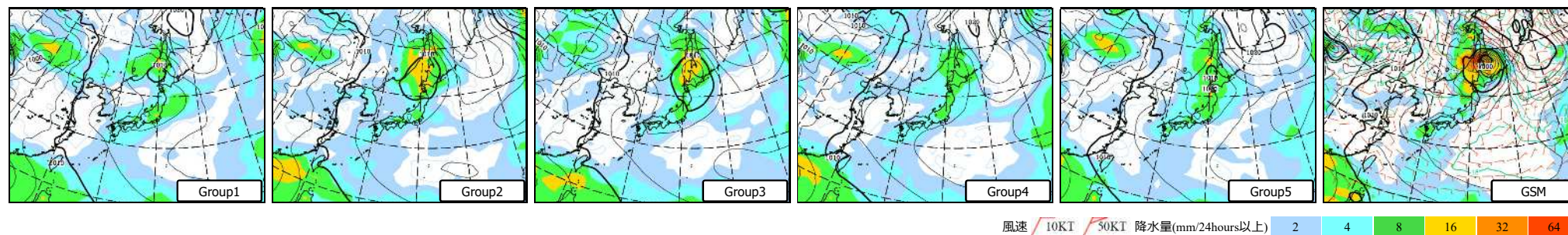


- 北日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 東日本は、23日と24日は晴れる所が多いが、25日から27日は雲が広がりやすい。
- 西日本は、晴れまたは曇りとなる日が多い。
- 沖縄・奄美は、晴れる所もあるが雲が広がりやすい。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆8月26日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、大きな初期値変わりはない。地上の気圧配置の予想は、27日に千島近海に進む低気圧が明瞭になった。
- 40°N以北の流れについて初期値変わりしたモデルもあるが、本日の資料ではモデル間の差は小さくなった。低気圧の発達程度等については、モデル間の差が見られる。
- 26日の北海道付近の低気圧については、モデルにより違いがあるが、ENSはそれぞれのモデルの予想に近いメンバーを含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。